

木楽々通信

～木楽々な暮らし～

『私たちの癒しの家』 室根町 O様

家に帰ってきてから、玄関に入るといつも香る『木』のいい香り。我が家を建ててから今年で2年になります。新築だった昨年と比べて、梁や床の木目の色合いが変化し、ますます住み心地が良くなって愛着がわいている今日この頃です。さて今回は、私たち家族のここが良かったベスト3を紹介したいと思います。

☆第1位「薪ストーブ」

寒い冬でも、子供達は半そで短パンで過ごすほど家中暖かく、そして経済的。ストーブの上に鍋を置いてそのまま一晩放置で、豚の角煮もできて、まさに一石二鳥のストーブ。



☆第2位「2階のワークスペース」

子供達の勉強スペースとして設計して頂いた場所。読書をしたり、絵画を楽しんだり、工作やパソコンをしたり、1階にいても声が聞こえるので会話もできるし多様に使える空間です。



☆第3位「玄関の飾り棚」

ここは、パパのこだわりの飾り棚。世界各国から集めた民芸品や現地で撮った写真などを飾る場所。ガラスの棚を取り寄せて頂き、後ろの壁にもこだわり、また収納棚は大工さん特注で作っていただきました。他にもありますが、やっぱり家族団らんのできる住みやすい木の香りの家。快適な癒しの家です。



自己流・薪ストーブの掃除

準備するもの①煙突ブラシ②新聞紙かシート等

③ビニール袋④養生テープ⑤手袋

(1) 新聞紙などでストーブの上や床周りが汚れないよう養生する。

(2) ストーブによって違いますが、煙突のバンドをゆるめ、煙突の伸縮部分はずす。

(3) ブラシをビニール袋に入れ煙突口に差し込み、接続部分は穴をあけて袋の外に出しておく。ビニール袋は煙突口をおおい、養生テープで隙間がないようにとめる。

(4) ブラシに棒を接続し、上下させながら次々上部へ差込んでいく。

(5) 煙突トップ部分に到達すると、ゴーンという音があるので、ブラシを下に引き抜いていく。

ビニール袋にすすがたまります。(玉澤豊栄)



今年の薪割りくらは、コロナ禍対応で11/13,14に行います。

この秋は幸いにも好天に恵られました。

ほっとな現場から

祝 上 棟 式

大東町 C様邸

9月13日

8月に地鎮祭 9月に上棟式が行われ、現在内装工事中。写真(右)が現在の様子です。完成は11月末の予定です。



ただ今工事中

藤沢町 円融寺



11月中旬お引渡しに向けて外構工事、室内器具つけの真最中。矢切の寺紋が見守ってくれています。

うれしいお知らせです。大工の畠山大地君(大ちゃん)に第2子(元気な男の子)が先週誕生しました♡そして、育児休業に入りました。詳しくは、次号にて!

～冬の足音、葉ボタンをいただきました!～

秋晴れのさやかな快晴に負けないくらい笑顔でお二人いらっしやい 室根町小山ご夫妻 ました。同じ笑顔で春には、かわいいパンジーもいただきました。

聞くところによると、お二人は、保育園や病院など施設にプランターをプレゼントした後、お花も届けているとのこと。私たちのところにまでいつもありがとうございます。葉ボタンは、縁起の良いものとしてお正月の鉢植えなどでもみかけますよね。来春まで寒い冬も楽しませて頂きます。



おすすめBOOK

「わたしたちのカメムシずかん」

洗濯物を取り込んでいるときや、窓ぎわでときどき目にするあの虫(もう嫌ってる表現でごめんなさい。この辺ではじゃごと力を入れて発音)ですが、先日、テレビを見ていたら、なんと岩手県北の小学校でカメムシについて、愛を持って研究して「カメムシずかん」を発行したということです。この学校では、35種類ものカメムシを発見。

鈴木 海花 文
はた こうしろう 絵



サブタイトどおり「やっかものが宝になった話」です。ついには、専門家まで登場します。そして、岩手県中学年の課題図書になったというのです。これは、ぜひ読まなくてはならない1冊になりました。

[発行] 木楽々工房 編集部

2021年126号

岩手県一関市藤沢町砂子田字境田15番地2

☎0191-63-4160(平日)

メール tamazawa@kirara-airpass.com

☆ご意見ご感想などお便りをお待ちしています☆ R3年10月発行